

Step up

sports for all

vol. 56
2024.8.1

発行:(公財)大野城市スポーツ協会 〒816-0902 大野城市乙金618-12
TEL 503-9500 FAX 503-5546 <http://www.onojo-sports.or.jp>



令和6年10月14日(祝)開催! MADOKA れくスボ祭



レクリエーションやニュースポーツなどの体験コーナー、バザーなど子どもからお年寄り、
家族連れまで、誰でも楽しめるイベントが盛りだくさん!! ぜひご参加ください!!



令和5年度公益財団法人大野城市スポーツ協会表彰

公益財団法人大野城市スポーツ協会表彰式が令和6年2月17日(土)にまどかひあで行われました。特別功労者表彰をはじめスポーツの振興に貢献された方、優れた成績を残した個人・団体等が表彰されました。おめでとうございます。



特別功労者表彰

1. 競技種目団体

- 東 邦弘(テニス協会)
2. スポーツ少年団
○後藤 健(大野城市スポーツ少年団)
3. 全国大会の上位入賞者
◆第41回神武館旗争奪少年剣道個人選手権大会 小学2年生の部 3位
○熊本 隼士(大野北剣道スポーツ少年団)
◆第45回全国少年剣道優勝大会 団体戦 小学2年生以下の部(3人制) 優勝
○大野北剣道スポーツ少年団
監督:花田 進一
選手:竹井 将貴 熊本 隼士 熊本 真士



功労者表彰

1. 競技種目団体

- 古賀 裕二(野球協会) ○浦川 敬祐(ワールド連盟)
○古賀 聖(ワールド連盟) ○亀井 浩美(テニス協会)
○小川 和良(卓球連盟)

2. スポーツ少年団

- 高橋 正治(O. D. サンダース)

3. 九州大会の上位入賞者

- ◆第40回全九州小学生バドミントン選手権大会 6年生以下女子ダブルス 優勝
○赤羽 実花(COLORS) ○河波 あい(COLORS)
◆第40回全九州小学生バドミントン選手権大会 5年生以下女子シングルス 3位
○前田 和花(COLORS)

- ◆第24回九州・山口9人制バレーボールクラブ男女選手権大会 男子の部 優勝

○四ツ葉クラブ男子

監督:吉原 次雄

コーチ兼選手:今村 龍生

マネージャー:吉野 恵

帯同審判兼選手:榮島 悠斗

選手:阿比留海斗 坂口 元 鬼丸 和
片山 翔斗 田中 秀穂 桂 将大
古賀 博 安永 剛亮 馬渡 祐希
緒方 智

◆第45回大旗争奪剣道大会 小学生低学年の部 準優勝

○大野北剣道スポーツ少年団

監督:花田 進一

選手:熊本 真士 金澤 満翔 山本 暖

本多 勇翔 松野 善 熊本 隼士

◆第43回九州プロックススポーツ少年団剣道交流大会

小学生団体の部 優勝

○大野東剣道スポーツ少年団

監督:緒方 大樹

選手:緒方勇之介 毛利朔太郎 玉代勢 凪
毛利 琥珀 長嶋 大河 吉武 拓真
李 嘉天宇



奨励賞

1. 競技種目団体

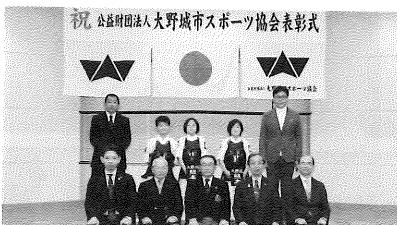
- 伊藤 和也(バレーボール協会) ○古市 章(卓球連盟)

2. スポーツ少年団

- 中原 正雄(南ヶ丘エアリバーボル) ○堀之内一喜(南ヶ丘エアリバーボル)
○長嶋久美子(大野東剣道スポーツ少年団) ○牛島文珠乃(大野東剣道スポーツ少年団)
○実済 英明(大野東剣道スポーツ少年団)

3. 福岡県大会の上位入賞者

- ◆第2回福岡県小学生スーパーKidsバドミントン大会3年生女子シングルス 準優勝
第31回福岡県小学生夏季バドミントン大会 4年生以下女子ダブルス 3位
第42回福岡県小学生選抜バドミントン大会 4年生以下女子ダブルス 3位
○前田 結芽(COLORS)



特別功労者表彰



功労者表彰



奨励賞

「御礼」

これまで、S T E P U Pの紙面をお借りし、私のスポーツ観、人生観など寄稿させていただき、皆さまに拝読していただきましたこと、有難く御礼申し上げます。

私、本年6月21日で84歳になりました。これを機に、長年務めさせていただきました大野城市総合体育館館長を退任させていただきました。

この間、皆さまには励まし、また温かい心で接していただきなど助けてもらうばかりで、私が何か仕事ができたかと考えたとき、懺悔の気持ちしかありません。お許しください。

さて、S T E P U Pへの寄稿は34回だったと思いますが、そのお陰で私の人生を振り返る機会を得ることができました。そして思ったことは、「マラソンは人生の教師である」ということでした。365日苦しい練習と闘ってきたこと。悔し涙を流したこと。大会で勝って嬉しかったこと。指導者から叱咤激励を受けたこと。家族、友人、走る仲間たちから温かい応援、励まし、愛をいただいたことなど、すべてが私という人間をマラソンが作ってくれました。

最後に、私が大切にしている言葉をおくります。吉田松陰が孟子の言葉として弟子に伝えた「至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり」という言葉です。

誠を尽くせば人は必ず心を動かされるという意味です。

長い間、皆さまありがとうございました。感謝！感謝！です。

重松 森雄

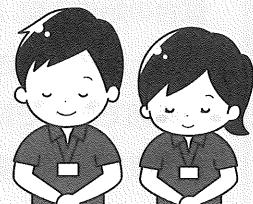
大野城総合公園（まどかパーク）からのお知らせ

工事のお知らせ

いつも大野城総合公園（まどかパーク）をご利用いただきましてありがとうございます。
令和6年11月から令和7年3月の期間、大野城市総合体育館内の電気・照明・水道等の設備更新工事を行います。

利用者の皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

なお、大野城市総合体育館以外の屋外施設は通常通り利用できます。予約、入金等の窓口業務は通常通り行う予定です。



「パリ五輪を楽しもう」

五輪開催の年は何やら気ぜわしい。楽しみでスポーツに打ち込む人から、海外でプレーする日本人選手の動向に敏感な人まで、パリから発せられる情報に接する時間は、いつもの何倍にも膨れ上がっているのではないかでしょうか。周りのニュースが五輪一色になっているからだけでなく、大会が始まる直前まで、パリに行けるか行けないか人生を賭けたチャレンジの様子を、手に汗握りながら追いかけてきた記憶も後押ししています。

そういう私も、五輪といえばそわそわせずにはいられません。新しく、重松森雄さんの後を受けて、大野城市総合体育館の名誉館長に就任した山本浩です。1953年に生まれ、転勤族だった父親の影響もあって遠賀郡で小学校の頃3年間を過ごしました。その後、放送局の職員として33年間にわたってスポーツの番組に携わる間に、福岡県で4年間の勤務を経験。「とびうめ国体（1990）」をはじめとして、ダイエーホークス（当時）や福岡国際マラソンでもマイクの前に座りました。放送局では、途中から仕事の重心が「スポーツ解説委員」に変わり10年、その後2009年に放送局を辞めて法政大学教員に転じてからもさらに15年、都合50年、ずっと仕事でさまざまなスポーツのそばにいたことになります。

五輪だけを見れば夏冬合わせて16回、現地で放送や取材に当たってきました。いろいろ思い出されますが、それでも今の時代、五輪の全体像を知るには現地にいるより日本にいた方がずっと有利です。移動、交渉、手荷物検査、取材用チケット取得のために並ぶ、あるときは外れ、なんてことを考えると、一日に回れる競技にどうしても限界があるからです。日本に戻ってようやく、「へえー、こんなすごい戦いだったんだ」といった情報に接することさえ少なくありません。

五輪の経験者がお勧めする画面観戦のアドバイス。今回も、テレビ局や新聞社がそれなりに「五輪特集」を組んでいます。関心のある種目に関しては、あらかじめそうした欄をチェックして、事前情報を手にしておくこと。さらに時間とエネルギーにゆとりのある人は、期待の選手名をその種目の国際競技団体（水泳ならFINA、陸上競技ならWA）のイニシャルとともに検索欄にアルファベットで入れてみたらどうでしょう。あっという間に世界ランキングが出てきて、その前後に目をこらせば、そこにいる人たちが正直言ってライバル。ひょっとしたら、直近の対戦成績も分かったりします。そして集まった材料を、大勢の仲間やコーチとのやりとりで話題にすれば、パリでの試合の始まる前、終わった後に深いところまで話が及ぶこと請け合いです。そこで得られたちょっとした身体の動きのヒントなど、コーチに持ちかけて自分たちの戦術に生かしてみたり、無理のない範囲で身体で試してみたりすれば、動きの意味がなんとなく分かるかも知れません。心地よい疲労感を遠くに感じながら、後は画面を見ながらハラハラドキドキの時間を過ごして下さい。



(profile)

山本 浩

(やまもと ひろし)

1953年4月12日生まれ。
元NHKスポーツアナウンサー。
「マラドーナの5人抜き」実況で
知られる。放送界を後にして、
2009年から15年間、法政大学
の教員を務める。
現在、日本スポーツ協会国スポ
委員長。
大野城市総合体育館名誉館長。